リニューアルの概要（各館の名称は変更後のものです。）

【１】志摩観光ホテル ザ クラシック

（１）エントランスロビー（１階）

全面的に改修し、温かみのある暖炉を新設、チェックインも着席型に変更しました。あわせて国内外のお客様をスムーズにお迎えできるよう玄関部分も整備しました。

エントランスロビー（イメージ）

（２）客室（２～６階）

客室の一部について、２部屋を１部屋に統合し、志摩の美しい自然を望めるビューバスと、靴を脱いでくつろげるゆとりあるリビングルームをご用意しました。

また、すべての和室（３４室）を洋室に変更したほか、全客室の美装を行いました。これらの改修により、客室数は１２７室から１１４室になります。

アンバサダースイート

プレミアムデラックス

コンフォートツイン

（3）ゲストラウンジ（2階に新設）

ドリンクや軽食をとりながらゆっくりとくつろいでいただける、宿泊のお客様限定のラウンジをご用意いたしました。ソファーに身を委ね、多数の書籍を楽しむことができる「リーディングルーム」や、音楽を楽しむことができる「リスニングルーム」もご用意しております。

ゲストラウンジ（イメージ）

（4）レストラン「ラ・メール ザ クラシック」

一部エリアを個室化（28 席 1 室）するとともに、朝食時にご利用いただけるハーフブッフェコーナーを設けました。「海の幸フランス料理」、「鮑ステーキ」、「伊勢海老クリームスープ」など、国内外から高い評価をいただいている伝統料理を、心ゆくまでご堪能ください。

レストラン「ラ・メール ザ クラシック」

海の幸フランス料理（イメージ）

（5）宴会場「真珠の間」

床、壁、天井を美装しました。パーティや会議、セミナーなどさまざまな目的でご利用いただける宴会場です。3 つの宴会場として分割してもご利用いただけます。ホテルならではの落ち着いた空間をご提供いたします。

宴会場「真珠の間」（イメージ）

【２】志摩観光ホテル ザ ベイスイート

１階部分を開放感のあるエントランスロビーに改装しました。フロントデスクを着席型に変更し、併せてショップを窓際に拡張移設しました。

エントランスロビー（イメージ）

【３】志摩観光ホテル ザ クラブ

１９５１年開業時の建物で、昭和を代表する建築家・村野藤吾氏の意匠を色濃く残しつつ、カフェ＆ワインバー、鉄板焼きレストラン、会議室を備えた趣のあるくつろぎのパブリックスペースとしてリニューアルします。

（１）カフェ＆ワインバー「Lien」（リアン）

昼は窓外に広がる庭園と志摩の美しい自然を眺めながらカフェを、夜はライトアップされた庭園をご覧いただきながら、厳選されたワインと軽食をお楽しみいただけます。

（２）鉄板焼きレストラン「山吹」

伊勢志摩の魚介類や松阪牛をシェフが目の前で焼き上げます。新鮮な食材をクラシックな雰囲気の店内でお楽しみいただけます。（前日までの予約制）

カフェ＆ワインバー「Lien」（リアン）（イメージ）

鉄板焼きレストラン「山吹」（イメージ）

【４】庭園

クラシックからベイスイートへと続く修景の整備を図り、散策路にブリッジを新設するなど、志摩の自然の中、ゆったりと散策をお楽しみいただける庭園に整備しました。これにより３館の回遊性も向上しました。

庭園

左奥：ザ クラブ　　右奥：ザ クラシック

散策路・ブリッジ